

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	宮城大学				
プログラム名	お米博士になろう～大学のお米研究最前線～				
先生 (代表者)	鳥羽 大陽(とりば たいよう)・宮城大学食産業学群・講師				
自己紹介	お米を食べるのが好きで、イネの研究者になりました。 お米はイネのタネです。タネから、どのように、イネが成長するのか、イネの花や葉を解剖して、調べています。 大学で研究しているお米を、一緒に観察しましょう。				
開催日・募集対象	2021年8月21日(土)	受講対象者	小学校 5・6年生	募集人数	16名
集合場所・時間	宮城大学 太白キャンパス エントランス広場		(集合時間)	9:30 受付開始	
開催会場	宮城大学食産業学群(太白キャンパス) 住所: 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2丁目2番1号 アクセスマップ URL: https://www.myu.ac.jp/access/				
内 容					
お米がどのようにできるのか、みなさんは知っているでしょうか？ お米はイネのタネです。花が咲いて、タネができると、私たちの食べるお米になります。この写真の中で、イネの花はどれでしょうか？					
本プログラムでは、小さなイネの花を探して、どこから出てくるのかを見つけます。また、大学で研究している水田のお米を大公開します。 さらに、お米を使って作る「白玉だんご」をつかって、 【歯ごたえ、しだざわり、のどごし】の科学も紹介します。 当日は、大学の講義室、実験室、研究圃場で、 大学生と一緒に体験学習をしましょう。 みなさんが、日ごろから食べているお米を持参の上、参加してください。					
持 ち 物			特 記 事 項		
筆記用具 普段家庭で食べているお米 (炊飯前のもの、10粒くらい) うわばき 汚れても良い靴(長靴など) 水筒(水分補給用) 帽子・タオルなど(暑さ対策)			大学の講義室や実験室では上履きを使用します。 また、圃場の見学を行います。見学では、舗装されていない土の上を歩くこととなりますので、長靴など、汚れても良い靴を用意してください。 暑さ対策のため、水筒、タオル、帽子などを用意ください。 普段家庭で食べているお米は、観察に使用します。(大学でも用意いたしますが、ご家庭のお米をみても、より違いがわかります。)		

スケジュール

- 9:30-10:00 受付 (集合場所: 宮城大学太白キャンパス1階広場)
- 10:00-10:20 開講式 (オリエンテーションと科研費の説明)
- 10:20-10:35 講義1 【お米ができる, その仕組みを考えよう】
- 10:35-10:50 休憩
- 10:50-12:00 イネ育成圃場の見学 (2つの班に分けて行動します, 途中10分の休憩含む)
- 12:00-12:50 ランチタイム (3密を避けながら, 受講生と実施者・大学生の交流を図ります)
- 12:50-13:40 実験・実習1 【イネの観察】
- 13:40-13:50 休憩
- 13:50-14:40 講義2 【歯ごたえ, 舌触り, のどごし, その食感とはなんだろう】
および, 実験・実習2 【食感を比較しよう】 (飲食は実験中に行いません)
- 14:40-15:00 休憩および発表の準備
- 15:00-15:30 研究発表
- 15:30-15:50 修了式 (未来博士号の授与)
- 16:00 解散 (宮城大学太白キャンパス 1 階広場)

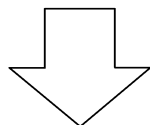
課題番号	21HT0021	分野	農学・生物	キーワード	イネ 生物の発生 食感
------	----------	----	-------	-------	-------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	宮城大学 食産業学群・鳥羽大陽
住 所	宮城県仙台市太白区旗立 2 - 2 - 1 宮城大学太白キャンパス
T E L 番 号	022 - 245-2211
F A X 番 号	022-245-1268
E - m a i l	toribat@myu.ac.jp
申込締切日	2021年7月21日（水）
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2020年度 ~ 2023年度	基盤研究(C)（一般）	20K06679	メリステムから移動するシグナル分子による葉の基部運命決定メカニズム



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000010585160>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。